

2019 年度国立美術館巡回展

東京国立近代美術館所蔵品展

きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形

CAMK コレクション展 vol.6

きっかけは「彫刻」。－現代日本の彫刻と立体造形



「CAMK コレクション展 vol.6」 出品作品
安本亀八《相撲生人形》1890 年 熊本市現代美術館蔵



「2019 年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展」 出品作品
高村光太郎《手》1918 年頃 東京国立近代美術館蔵 撮影：大谷一郎

会期 | 2019 年 9 月 21 日（土）－ 11 月 24 日（日）

会場 | 熊本市現代美術館 ギャラリーⅠ・Ⅱ

平素から、当館の展覧会活動に対して、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、熊本市現代美術館では、ギャラリーⅠにて、「2019 年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展 きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形」ギャラリーⅡにて、「CAMK コレクション展 vol.6 きっかけは「彫刻」。－現代日本の彫刻と立体造形」。を同時開催いたします。つきましては、ご多忙の折とは存じますが、上記二展についてご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【展覧会概要】**■2019 年度国立美術館巡回展****東京国立近代美術館所蔵品展****きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形**

本展は、「彫刻」という概念が誕生した明治期、大正期から昭和初期の多様な展開、戦後たちあがった立体造形、さらには近代日本彫刻史を踏まえ発展していった現代彫刻までを、それぞれの時代を象徴する代表作から通観するものです。

東京国立近代美術館の収蔵作品の中から、ロダンに多大な影響を受けた高村光太郎や荻原守衛、中原悌二郎をはじめ、木彫の世界を広げた平櫛田中や橋本平八、第二次大戦後の現代美術で存在を示した舟越保武、向井良吉、三木富雄から 1980 年代の表現まで、近代日本に新しく発生した「彫刻」という概念が、各時代を代表する作家達にどのような刺激を与え創造を促したのか、作家達は「彫刻」をどのように解釈し、何に重きを置き表現したのかを探ります。

近代日本彫刻をテーマにした熊本県下で初めての大規模な企画展です。

■CAMK コレクション展 vol.6**きっかけは「彫刻」。－現代日本の彫刻と立体造形**

熊本市現代美術館のコレクションから、彫刻・立体作品の特集展を開催します。

当館の収蔵する彫刻・立体作品群は、幕末から明治に大流行した生人形を例外として、制作年が 1990 年以降のものがほとんどですが、木材やブロンズなど彫刻ならではの素材に加え、布や鉄、FRP をはじめ多様な素材や新しい技術を用いて制作されていることや、女性作家の活躍がその特徴として挙げられます。

それぞれの作品は、アーティストが思索を重ね閃いた、時代を先取りするような斬新なかたちをしていますが、私たちと同じ時代を生きる日々に、見たり、聞いたり、感じた事から生まれ出た作品です。眺めているうちに、言葉にならなかった想いへの気づきや、深い共感を覚えることがあるかもしれません。

いくつかの作品には、崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コースの教員・有志学生によるイラストレーションが、作品鑑賞のナビ役として登場します。若い世代が共感した、作品が放つ「今っぽさ」に注目しながら、作品のメッセージを読み解いてみませんか。

【作家紹介・出品作品】

■ 2019 年度国立美術館巡回展

東京国立近代美術館所蔵品展

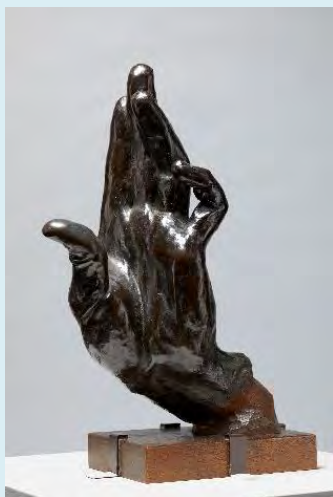
きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形

出品作家 生年順（予定）

竹内久一、山崎朝雲、米原雲海、平櫛田中、荻原守衛、戸張孤雁、朝倉文夫、高村光太郎、藤川勇造、北村西望、石井鶴三、佐藤朝山、中原悌二郎、荻島安二、橋本平八、斎藤義重、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武、向井良吉、村岡三郎、吉村益信、若林奮、赤瀬川原平、三木富雄、菅木志雄、遠藤利克

出品作品(予定)

広報画像



広報画像



広報画像



出品作品例：

左：高村光太郎《手》1918年頃 東京国立近代美術館蔵 撮影：大谷一郎

中央：平櫛田中《鏡獅子試作頭》1938

右：赤瀬川原平《患者の予言（ガラスの卵）》1962/94年 東京国立近代美術館蔵 撮影：大谷一郎

■CAMK コレクション展 vol.6

きっかけは「彫刻。」－現代日本の彫刻と立体造形

出品作家 展示順（予定）

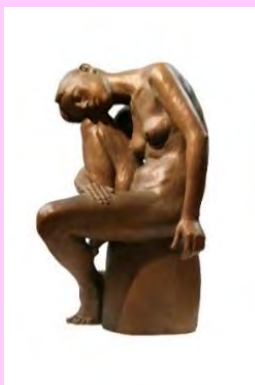
草間彌生、井手宣通、森村泰昌、安本亀八、naonao's 森川尚美、ひびのこづえ、田部光子、今田淳子、高嶺格、石原昌一、本田貴侶、舟越桂、中山ダイスケ、吉野辰海、藤本高廣 ZUBE、池田龍雄、中嶋一雄、阿部守、青木豊

出品作品（予定）

広報画像



広報画像



上 左：安本亀八《相撲生人形》1890 年

上中央：ひびのこづえ《白いフェルトの服（穴、三日月、トゲ、アコーディオン、うろこ）》1991 年、
《動物の頭（くま、さる、さい、ぞう、うま）》2009 年

上 右：中山ダイスケ《Private Castle A（みどり）》2006 年

下 左：田部光子《人工胎盤》1961/2004 年

下中央：石原昌一《想－98》1998 年

下 右：高嶺格《God Bless America》2002 年

すべて熊本市現代美術館蔵

【開催概要】

展覧会名：2019 年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展

きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形

会 期：2019 年 9 月 21 日（土）～ 11 月 24 日（日）（56 日間）

開催時間：10:00～20:00(展覧会入場は 19:30 まで)

休 館 日：火曜日。10 月 22 日(火・祝)は開館、翌日休館

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリー I

主 催：東京国立近代美術館、熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）、
熊本日日新聞社

特別協力：崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース

後 援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本国
際観光コンベンション協会、NHK 熊本放送局、J:COM、エフエム熊本、FM791

展覧会名：CAMK コレクション vol.6

きっかけは「彫刻」。－現代日本の彫刻と立体造形

会 期：2019 年 9 月 21 日（土）～ 11 月 24 日（日）（56 日間）

開催時間：10:00～20:00(展覧会入場は 19:30 まで)

休 館 日：火曜日。10 月 22 日(火・祝)は開館、翌日休館

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリー II

主 催：熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）、熊本日日新聞社

特別協力：崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース

後 援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本国
際観光コンベンション協会、NHK 熊本放送局、J:COM、エフエム熊本、FM791

「2019 年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展」「CAMK コレクション vol.6」展の

共通チケットを販売致します。

共通チケット：

一般 1,000（800）円、シニア 800（600）円、学生（高校生以上）500（400）円、中学生以下無料

*（）の料金は前売りおよび団体料金。

*（）の料金は以下を提示した場合にも適用される。

各種障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等／
付き添い者1名にも適用）、電車・バス1日乗車券、JAF会員証、緑のじゅうたんサポーター証。

*美術館友の会証を提示の場合は無料（1展覧会につき1回限り）。

*前売り券は 9 月 20 日(金)まで販売。

*10 月 12 日（土）は開館記念日のため入場無料。

【関連イベント】

展覧会名：2019 年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展
きっかけは「彫刻」。－近代から現代までの日本の彫刻と立体造形

■東京国立近代美術館学芸員による特別講演会

講 師：大谷省吾（東京国立近代美術館美術課長）

日 時：9 月 21 日（土）14:00－15:30

場 所：ホームギャラリー、入場無料

■プレミアムナイトツアー

担当学芸員による解説付きのナイトツアー。会場を貸切でお楽しみいただけます。

日 時：11 月 1 日（金）19:30－21:00

（レクチャー30 分、会場内ツアー1 時間）

集合場所：ホームギャラリー

定 員：40 名（要事前申込）

参 加 費：要展覧会チケット（半券可）

■ギャラリー・ツアー

当館学芸員と一緒に展覧会をめぐるツアーです。

候 補 日：9 月 29 日、10 月 6 日、11 月 3 日、11 月 24 日

各 回：15:00－15:40

集合場所：展覧会場入口

参 加 費：要展覧会チケット（予約不要）

■プレママ+ファミリーツアー

0～6 歳の子供と大人、または妊娠中の方と家族や友人の皆さんと一緒に展覧会を楽しむツアー。

日 時：9 月 28 日（土）10:30－11:10

集合場所：展覧会場入口

定 員：7 組 *大人のみ要展覧会チケット（要事前申込）

開催済のイベント

■ 展覧会プレイベント：ワークショップ「作品をキャラクター化する」

担当学芸員の解説付きでの作品鑑賞（スライド）ののち、参加者の専門分野であるマンガ表現を用いて、キャラクターの創作（作画）を行った。

ワークショップの成果作品は、広報物や、作品解説パネル、展覧会カタログに活用予定。

期 間：2019 年 2－3 月

参 加 者：崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース教員と有志学生

内 容：出品作品より、キャラクターの創作（作画）を行うワークショップ。

イラストレーション（一例）



左から：

平櫛田中《鏡獅子試作頭》からのイラストレーション（作画：准教小川剛先生）

高村光太郎《手》からのイラストレーション（作画：濱武茅乃）

橋本平八《幼児表情》からのイラストレーション（作画：高田晃喜）

荻原守衛《文覚》からのイラストレーション（作画：助教木下裕士先生）

【関連イベント】

展覧会名：CAMK コレクション vol.6

きっかけは「彫刻」。－現代日本の彫刻と立体造形

■当館コレクションで行う「さわる」ギャラリー・トーク

教育普及担当学芸員を講師として、触る鑑賞体験を通じて作品との新たな出会いを楽しめます。

日 時：10月26日（土）14:00－15:00

場 所：展示室内（ギャラリーⅡ） 集合場所：展覧会場入口

定 員：15名（事前申込） ※要展覧会チケット（中学生以下は無料）

■熊本市現代美術館開館記念日×熊本城ホール開業記念 コラボ企画

第1弾 エマニュエル・ムホー emmanuelle moureaux（建築家/デザイナー）

アーティストトークとワークショップ

トークではムホーさんならではの色に対する考え方を語ります。

ワークショップでムホーさんの色の世界を体感しよう。

｜アーティストトーク｜（入場無料）

日 時：10月12日（土）13:00－14:00

場 所：ホームギャラリー

｜ワークショップ｜（参加費無料）

日 時：10月12日（土）14:30－17:00

場 所：アートロフト(予定)

定 員：30名（小学生以上）(事前申込)

*10月12日(土)は開館記念日で、展覧会入場無料。

■熊本市現代美術館開館記念日×熊本城ホール開業記念 コラボ企画

第2弾 ひびのこづえ（コスチュームデザイナー）

ワークショップ「ちいさな生き物のブローチをつくる」

ワークショップで作成したブローチは、熊本城ホールのエントランスロビーに展示します。

【展示期間：2019年12月17日－2020年1月13日（予定）】終了後、制作者に返却。

日 時：10月19日（土）13:30－16:00

10月20日（日）10:00－12:30／13:30－16:00

場 所：ホームギャラリー

対 象：5歳以上（小学校以下は保護者同伴、参加者は必ず一人1点制作します）

各回定員：60名（要事前申込。定員に空きがある場合のみ当日参加可能。付き添い参加不可）

参 加 費：1500円（材料費含む、特典付き）

会 場：ホームギャラリー 持 ち 物：はさみ、筆記用具、色鉛筆、布（各自使いたい人のみ）

開催済のイベント**■ 展覧会プレイベント：ワークショップ「作品をキャラクター化する」**

担当学芸員の解説付きでの作品鑑賞（スライド）ののち、参加者の専門分野であるマンガ表現を用いて、キャラクターの創作（作画）を行った。

ワークショップの成果作品は、広報物や、作品解説パネル、展覧会カタログに活用予定。

期 間：2019 年 2－3 月

参 加 者：崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース教員と有志学生

内 容：出品作品を用いて、キャラクターの創作（作画）を行うワークショップ。

※出品作品をもとにしたイラストレーション（一例）

左から：

ひびのこづえ《白いフェルトの服（穴）》《動物の頭（サイ）》からのイラストレーション（作画：濱武茅乃）

中山ダイスケ《Private Castle》からのイラストレーション（作画：藤井美沙希）

吉野辰海《大首》からのイラストレーション（作画：助教木下裕士先生）

高嶺格《God Bless America》からのイラストレーション（作画：高田滉喜）

■一般公開 — 9月21日（土）10:00～

※各関連イベントの詳細及び申込方法は、当館ウェブサイトをご覧ください。